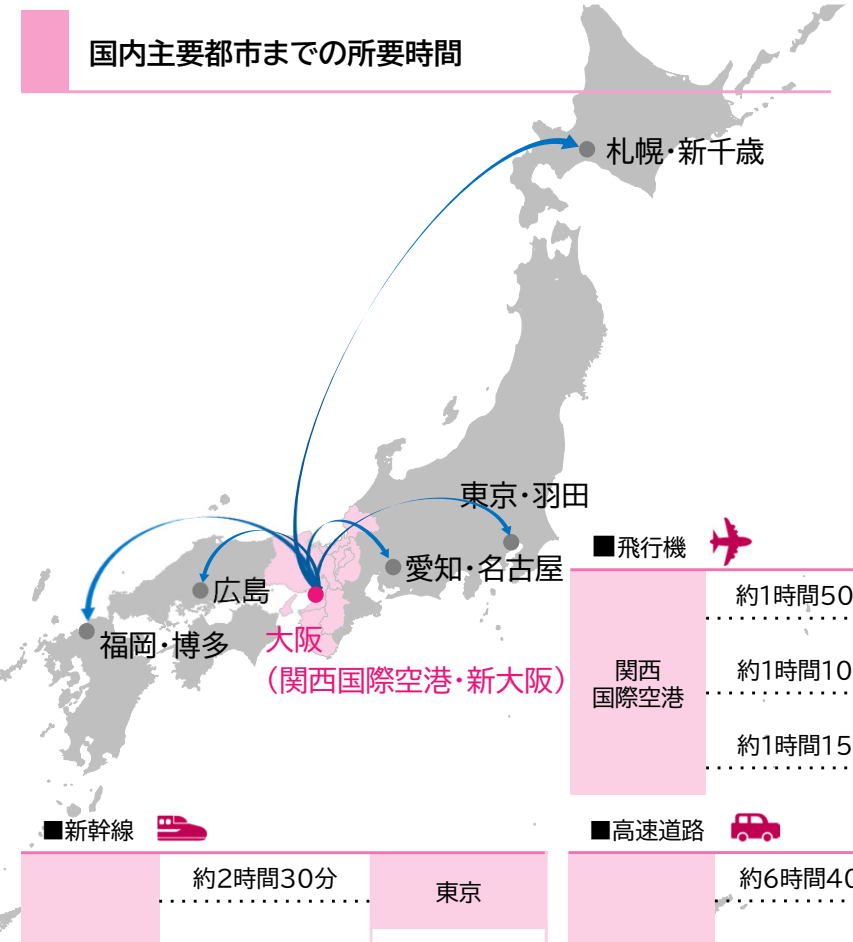
1-1　関西の位置と交通インフラ

- 関西は日本のほぼ真ん中に位置し、航空、鉄道、道路ともに交通ネットワークが発達しています。
- 東京をはじめ国内主要都市・関西各地への移動も便利です。特に京都・大阪・神戸は隣接し、30分程度で相互にアクセスできます。

国内主要都市までの所要時間



■飛行機

関西国際空港	約1時間50分	札幌・新千歳
	約1時間10分	東京・羽田
	約1時間15分	福岡・博多

■新幹線

新大阪	約2時間30分	東京
	約50分	愛知・名古屋
	約1時間30分	広島
	約2時間30分	福岡・博多

■高速道路

新大阪	約6時間40分	東京
	約2時間30分	愛知・名古屋
	約4時間20分	広島
	約7時間40分	福岡・博多

関西の主な都市交通ネットワーク（所要時間）

大阪市中心部から京都市・神戸市といった国際都市へ、
30分程度で移動できるコンパクトさが魅力です。

■電車（新幹線や特急を含む最短時間）

新大阪	約1時間50分	福井
	約35分	滋賀・大津
	約15分	京都
	約15分	兵庫・新神戸
	約1時間10分	奈良
	約1時間	和歌山

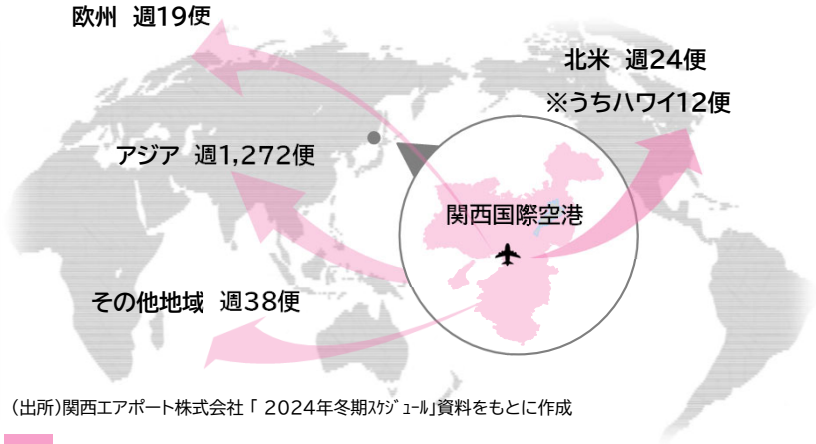
■高速道路

新大阪	約3時間10分	福井
	約1時間	滋賀・大津
	約1時間	京都
	約55分	兵庫・新神戸
	約55分	奈良
	約1時間20分	和歌山

1-2　多くの航路で世界・アジアにつながる関西

- 関西国際空港は、日本・関西の中心に位置し,国際貨物のハブ空港として24時間運用。アジアと世界を結んでいます。
- 2024年 週1,547. 5便が就航しています。国際旅客便数は週1,353便で、その内LCC便数は週588便(全体の43%)となっています。
- 2024年のアジア就航都市数は43都市、国際線LCCは21社・27都市を誇ります。
- 国際貿易拠点として、大量の貨物の取り扱いが入港できる空港・港湾を整備。アジアの中核として役割を担っています。

方面別国際旅客便内訳



(出所)関西エアポート株式会社「 2024年冬期ｽｹｼﾞｭｰﾙ」資料をもとに作成

■関西国際空港へのアクセス

関西国際空港	電車で約75分	京都
	電車で約47分 バスで約50分	大阪・梅田
	電車で約83分 バスで約65分	神戸・三宮

神戸空港の国際化が決定

神戸空港では、**2025年4月**から**国際線の運航**が開始されます。

韓国・台湾をはじめとする世界へつながる空の玄関口として、**新たなターミナルビル**もオープンします。

ビジネスや観光など様々な目的において、神戸がますます便利になることが期待されています。

画像提供:神戸市

第1ターミナルビル大規模リノベーション

・国際線のキャパシティが大幅に拡大、充実予定！

国際線保安検査場

免税店(出発)

国際線ラウンジ ※イメージ

PLAZAエリア(待合スペース)

免税店(到着) ※イメージ

・2025年3月27日(木)
グランドオープン

画像提供:関西エアポート株式会社

24時間運用空港、日本初の医薬品共同定温庫

・国内唯一！4000m級複数滑走路を持つ完全24時間運用空港。
・日本初の医薬品の定温輸出梱包、保管ができ、医薬品のクールチェーン輸送を実現！

医薬品専用
共同定温庫

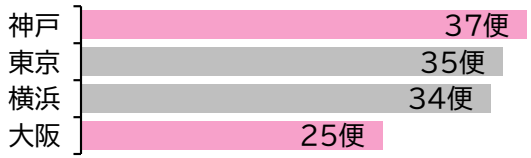
医薬品輸出梱包施設
(KIX-Medipac)

画像提供:関西エアポート株式会社

関西に就航する外貿定期コンテナ航路

アジア等近海	週154.8便
北米	週7便
欧州	週2便
その他	週1.5便

なかでも、神戸港の東南アジア航路の就航便数は日本一を誇っています。



(出所)国土交通省「日本に就航する外貿定期コンテナ便数(便/週)」
※2024年5月時点
※関西の外航コンテナ定期航路を有する港湾の合算。